

令和6年度全国高校生体験活動顕彰制度事業

「地域探究プログラム（ちいぷろ！） オリエンテーション合宿 in 赤城」

1. 趣旨

宿泊を伴うオリエンテーション合宿を通して、探究のプロセスを体験し、ものごとを探究する姿勢、主体的に取り組む態度、課題に向き合う力などを身に付ける。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和6年8月4日（日）～8月6日（火）【2泊3日】

(2) 参加者

群馬県立富岡高等学校 1年生26名、2年生4名

3. 企画運営のポイント

- (1) 活動の目的や達成目標を明確にし、探究の学びのプロセスを用いて、指導計画とワークシートを作成する。
- (2) 前橋市地域おこし協力隊と連携し、充実したフィールドワークを行う。参加者の地域課題と共通する内容を扱う。
- (3) 富岡高校の「総合的な探究の時間」の教育課程と関連させ、本合宿の成果を学校で活かすことができるようにする。富岡高校では個人での探究活動が中心となっているため、本合宿では個人ワークや個人発表のプログラムの充実を図る。

4. 日程

	午 前	午 後	夜
8月4日 (日)	フィールドワーク① 「地域の魅力を発見」 講師：三ツ井朋大 氏 (前橋市地域おこし 協力隊)	講義・演習① 「地域理解」	講義・演習② 「課題解決の基礎」
8月5日 (月)	フィールドワーク② 「地域課題の探究」 講師：三ツ井朋大 氏 (前橋市地域おこし 協力隊) 講義・演習③-1 「地域課題の探究」	講義・演習③-2 「地域課題の探究」 発表①	講義・演習④-1 「行動計画の基礎」
8月6日 (火)	講義・演習④-2 「行動計画の基礎」	発表② 実践活動のためのガイ ダンス	

5. 主な活動内容



フィールドワーク①
「地域の魅力を発見」



講義・演習①
「地域理解」



講義・演習②
「課題解決の基礎」



フィールドワーク②
「地域課題の探究」



講義・演習④
「行動計画の基礎」



発表

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 21名 (70.0%) やや満足 9名 (30.0%) やや不満 0名 不満 0名

(2) 参加者の声

- 課題解決の手順を学ぶことができた。
- 探究のやり方について、以前よりも深く知ることができた。
- グループワークでアイデアを出し合ったり、意見を聞いたりすることが楽しかった。
- たくさんのアイデアを出すことができ良い経験となった。アイデアの発想法が身に付いた。
- 自分の意見をしっかり考える機会が多くて良かった。
- 地域について深く考えることが無く、課題を見つけることに苦労したが、良い機会だった。
- 自分の地域について、探究したいことをまとめることができた。
- 人前で発表することはとても緊張したが、良い経験となった。

(3) 成果

- 参加者から「課題解決の手順を学ぶことができた。」「探究のやり方について、以前よりも深く知ることができた。」「たくさんのアイデアを出すことができ良い経験となった。」「アイデアの発想法が身に付いた。」などの意見があることから、探究のプロセスごとに活動の目的を明確にし、ワークシートを活用したことは、情報の整理や分析、アイデア出し、発表内容を考えるための手段として有効であった。
- 参加者から「地域について深く考えることが無く、課題を見つけることに苦労したが、良い機会だった。」「自分の地域について、探究したいことをまとめることができた。」などの意見があることから、地域についての理解を深める上でフィールドワークは有効であり、自分の地域に目を向けるきっかけとなった。

(4) 課題

- 参加者数が定員を大幅に超えたため、講師1名によるフィールドワークでは非効率な場面があった。グループごとにローテーションして活動するなどの工夫、法人ボランティアによるサポートを検討する必要がある。
- 個人発表の際、プロジェクターと参加者持参のタブレットやスマートフォンとの接続に不具合が目立った。学校持参パソコンを用意してもらうなどの対策が必要である。

担当：杉山 直弥、山田 堯輝